

瓶岩A ゴールイン

成績

(回)	(体)	順位	選手名	タイム
〔中学校〕	北陵 A	1位	長南	3.09.00
		2位	香陵	3.12.35
		3位	香南	3.19.06
		4位	北北	3.24.28
		5位	北陵	3.24.32
		6位	高知	3.35.18
〔高校〕	高知農 A	1位	高知農 A	2.50.32
		2位	高知農 B	2.53.56
		3位	高知工専	3.11.36
〔一般〕	瓶岩 A	1位	瓶岩 A	3.05.08
		2位	前市	3.06.17
		3位	十市	3.13.49
		4位	協和農機	3.20.24
		5位	瓶岩 B	3.20.32
		6位	南国郵便局	3.25.38
		7位	岡豊、8位 三和	
		9位	大笹、10位 農業講習所	
(区間賞) 一般・高校・中学				
第1区(市役所一三和 3.8km)				
高木康晴(前市) 11.54、高坂光治(高農A) 11.37、安藤賢一(北陵中A) 12.15				
第2区(三和一十市 6km)				
沢田一彦(前市) 19.39、北村洋				
第3区(十市一前浜 5・7km)				
岡田秀安(三和) 19.41、島田幸広(高農A) 18.17、小笠原雅夫(北陵A) 19.31				
第4区(前浜一岩 5・7km)				
宮地敏紀(瓶岩A) 20.04、山本憲司(高農B) 18.33、笠井裕司(北陵A) 20.43				
第5区(岩一市役所 4・2km)				
松木敬二(協和農機) 13.49、大和利幸男(高農A) 13.24、小野寺敏彦(北陵A) 14.18				
第6区(市役所一久礼田 7・1km)				
浜田敏弘(前市) 23.09、脇金三郎(高農A) 22.42、野中三徳(高農B) 22.42、岡田日出喜(北陵A) 26.08				
第7区(久礼田一選果場 6km)				
島村文夫(南国郵便局) 19.40、竹田芳則(高農A) 18.16、島山心徳(北陵A) 20.29				
第8区(選果場一白未谷 7・8km)				
高木正行(前市) 18.02、松田光香(高農A) 16.18、高橋俊文(北陵A) 18.03				
第9区(白未谷一岡豊 6・5km)				
坂本淳一(瓶岩A) 21.34、坂本豊明(高農A) 19.54、西原三登(北陵A) 22.07				
第10区(岡豊一市役所 4km)				
宮地哲(瓶岩A) 14.13、山本茂男(高農A) 12.45、前田幸男(香長) 13.54				

声援に迎えられてバトンタッチ



第7回農協訪問駅伝競走 一般で新記録を樹立

北陵A・高知農A・瓶岩A 優勝



0選手市役所前を一斉スタート

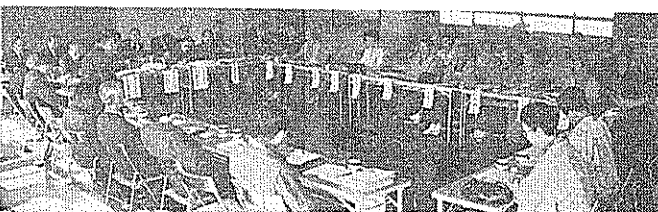
市体育協会などの主催による第7回農協訪問駅伝競走は、2月2日、20チーム(一般10、オープン参加10)の参加のもと、全走程53.4km、10区間のコースで行なわれました。四国の高校駅伝でもトップクラスにある高知農高から2チームが参加し、スタートからAチームが前半、後半ともトップで7連勝しました。

また、一般の瓶岩Aと前浜は、互に出しましたが、前半リードした瓶岩Aにがい歌があがりました。

産業構造のビジョンをたてよ

市民図書館の設置など

第七回市政会議



婦人の政治意識を高めることによって、台所と市政を直結したものにしよう、毎年一回、市連合婦人会の行なっています市政会議は、このほど中央公民館で、中央婦人学級の学習会をかねて第七回目の会議をひらきました。

▽正しい評価で、正当な課税を、▽給与所得者と農業、商業所得者との格差が大きい。▽国保税が上がるが若しい。▽子どもに遊び場を、▽生活保護の適正化と、更正指導をはかれ▽老人ホームを設置せよ、▽乳児保育所を設けよ。▽チリ、し尿処理場の設置、▽川を美しくする対策を、チリ収集は確実に、▽消毒薬を市費負担で、回数、薬品を多く、▽へき地診療をつづけてほしい。▽産業構造のビジョンを樹立し、ゆきあたり施策を排除せよ、▽道路の整備を早急に、山間部の路面補修を確実に、▽農協の合併を推進し、農業の近代化をはかれ。▽すべての行政は公正平等に、議員は市全体の議員になって、▽窓口は親切に、行きやすく親しみのある市役所にしてほしい。

戦没者の遺族の特別弔慰金

戦没者の遺族の特別弔慰金(三万円)の請求期限が近づきました。未だに請求手続きの済んでいない方はありませんか? 次のことに該当すると思われる方は、早急に市役所庶務課へお届けください。

感想文(佳作1席)

この感想文は、新成人の人たちから募ったものです。とくに農家の嫁の問題が大きく呼ばれているとき、このように土を愛する若き人のあること見逃がすことはできません。こんご末政さんのようにすすんで農村を育てる人たちのつくことを期待し、とくに取りあげてみました。

成人となって 農家の嫁として生きる私

田村末 政 淑 子

成人、この二字は実に意義深いものだと思ふ。今まで少女としてとり扱われてきた全体的で、これからは一国民として扱われるのだ。私は成人だ。南国市民として社会に自分に責任を持たなければならないのだ。

少女としての私ではなく、一社会人として立派に生きていかねばならない。成人の私、成人の農家の嫁……。私は成人となり、

中で、何不自由なく我がままに、自分の気ままな生活を二十年間続けてきた。その私がここに成人となり、農家の嫁として、これから先、さち多かりき生活を営み続けたいかなければならぬのだ。現在、日本の社会は目まぐるしく変動している。それは大都会のみならず、あらゆる町で、村で、

の青年は農村に作物に魅力を感じ、生きがいを見つけ、サラリーマンには味わえない生活をしてい

愛情を持つ、素朴な一農村青年の嫁となって三ヶ月、今までの私とはずいぶん違った。十九歳の私と、はたかとなり嫁となった私を前の友人は驚かすだろう。

今やつとわかってきたような気がする。そして父母の喜びもあの態度も。今の私でなければ味わえない喜びである。